

夜、室内で仕事をしていると、どこからともなく一匹のテントウムシが飛び込んできました。黒くつややかな上翅に、左右一つずつ鮮やかな赤い紋があります。これはナミテントウ（並天道） *Harmonia axyridis* の「二紋型」と考えられます。ナミテントウは模様の変異が非常に大きく、赤地に多数の黒点があるものから、写真のような黒地に赤い紋をもつものまで、同じ種類とは思えないほど多彩な姿をしています。

この個体は室内をしばらく飛び回ったあと、明るいパソコン画面に誘われたのか、その周囲をせわしなく歩き始めました。夜行性の蛾ほど強い走光性を示す昆虫ではありませんが、テントウムシも夜間に飛翔した際、人工照明のある場所へ入り込むことがあります。画面やデスク周辺を探索した末、とうとうキーボードの上へやって来ました。

そして「無変換」キーのすぐそばで歩みを止め、しばし休憩です。黒いキーボードの上では黒光りする体が背景に溶け込み、その中で二つの赤い紋だけが鮮やかに浮かび上がっています。普段なら草木の葉や枝の上で見かけるナミテントウが、文字入力のためのキーの上にちょこんと乗っているのは、なかなか珍しい光景です。夜の工作中に突然現れた小さな訪問者がつくった、ちょっと愉快な一枚となりました。

（2026年8月中旬／北軽井沢）

